

## 令和4年度第1回印西市市民参加推進委員会会議録

- 1 開催日時 令和4年8月5日（金） 午後2時～4時
- 2 開催場所 印西市役所3階 大会議室
- 3 出席者 小出正史委員、五十嵐盛春委員、青山真佐江委員、片桐顯二委員
- 4 事務局 吉林部長、川島課長、秋山係長、伊藤主査補
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事 (1) 会長及び副会長の互選について  
(2) 市民参加推進委員会の運営について  
(3) 令和3年度印西市市民参加実施結果の報告について  
(4) 令和4年度市民参加手続の実施予定について
- 7 議事録（要点）

### 【議題（1）会長及び副会長の互選について】

- ・会長が選任されるまで、事務局が仮議長を務めることで了承され、吉林部長が仮議長を務めた。
- ・会長の互選を行い、小出正史委員が会長に選任された。
- ・副会長の互選を行い、五十嵐盛春委員が副会長に選任された。

### 事務局 【議事（2）市民参加推進委員会の運営について説明】

#### 【以下、質疑応答】

委 員 令和3年度の書面開催の形がどのような結論となったのか報告願いたい。本委員会については報告として年1回の開催となっているが、2回開催されたことはあるのでしょうか？ 市民提案があったのかどうか知りたい。

事務局 市民提案の手続きについては、平成20年からこの条例が施行されているが、市民提案として議題に上がったことはありません。昨年度の書面開催については、委員の皆様から頂いた意見をまとめ、回答を送付しております。

議 長 書面開催については市の方針で、書面の回答については各委員に送付されていません。

委 員 大分時間が経っているので、各委員からどんな意見があったのか、復習の意味を兼ねて確認させていただきたい。

事務局 少しお時間を頂きたい。

委 員 役所の中で、いろんな仕事がある中で、市民参加を進めていくのは容易な話ではないなといつも感じています。その中で何か改善する、一人でも多くのかたが参加できるようにするには、やり続けていくことが大事かなと思う。そうすることで制度が定着していくのかなと書いた記憶があります。

委員 市民参加といえば、自分が住んでいる街を知ること、また市がどのような行政サービスを行っているのかを知ることが第一歩で、委員がおっしゃったように、継続していくことが大事で、この一歩が積みあがっていくとより良い市になっていくと思います。

議長 事務局で準備できたようなので、事務局から昨年度の市民参加推進委員会の結果について説明をお願いします。

事務局 昨年度の書面開催について説明いたします。昨年度は書面開催でしたが、なんとか工夫して対面で開催するように、といったご意見がございました。また、昨年度は総合計画に係る市民参加手続きがありました。その際は、Youtube や Twitter を活用したり、かなり活発な市民参加手続きがとられていたので、そこについてこういったことを普及させた方が良いという意見がありました。また、資料ごとの数字のつながりが分かりづらいという意見もございました。

委員 市民参加手続と聞くと地味な印象があり、なにもしないと中々増えてこない。こつこつとやってい行かないと形骸化されてしまうと思う。

議長 私も以前富里市のパブリックコメントに応募しました。その意見に対してどう対応するのか、期待をするわけですね、当然一市民の意見ですから。富里市では結果がいつ頃公表されるか、明示されていない。その辺がパブリックコメントの問題なのかもしれない。印西市では大分工夫して、募集期間を二週間のところをコロナもあって一週間ぐらい延長して実施したところもあった。そういう点でも印西市はネットワークが良いなと思いました。コロナに対応して市民に寄り添った形で進めていると思います。

事務局 【議事（3）令和3年度印西市市民参加実施結果の報告について説明】

【以下、質疑応答】

委員 令和3年度の実績について、全体的な感想になりますが、資料2の実施事項の報告のところ、行政改革大綱の作成から、歴史民俗資料館の運営まで、行政の柱となる、施策等が網羅されていると思う。事業一つ一つに、審議会等の手続きやパブリックコメントが織り込まれている。

市民参加で大事なことは、計画や方針を作るときに、市民の意見を吸い上げていくことだと思う。そういうところからすると、計画・方針づくりの際、パブリックコメントがなされていることは市民参加が行政の中にも定着しているのかなと思う。

特に資料の3、印西市地域防災計画の改訂にあたって、概要版を作っていることや、各章ごとに主な修正点をまとめている点は、非常に意見を出しやすくしているという気はします。計画書というと何十ページにも及ぶものも多く、そうなると思意見が出しづらい。まとまった形になっていると思意見は出しやすくなると思います。

パブリックコメントの結果については、ホームページに掲載されているものを全部確認しました。意見については丁寧に取られているなと思いました。例えばDX推進方針もITに関することでわからない点多かったですが、意見をどう取り扱ったかが明らかにされていきました。件数が少ないものもあるかもしれませんが、

積み重なっていけば、市民参加は続いていくと思います。

今年度も実施予定の市民参加がありますから、できることは少しでも改善していただいて、取り組んでいただければと思います。

議長 委員がおっしゃったように、役所の努力が認められて、かつそれが市民の意見を出しやすいように努力している。数字で0のところもありますから、これで満足ではもちろんいきませんが、委員がおっしゃったように、着実に積み重ねていけば市民参加が推進されるのではないかという御意見だったと思います。

委員 資料3で目を引いたのが、5番の複合施設の委員会でした。印西市においてはニュータウン計画も収まりつつあって、市民の関心を集めている部分であると思うので、事務局でわかる範囲で概要を教えてください。

事務局 令和3年度に事業者選定が行われました。令和4年度はその業者を交えて、各課からヒアリングが行われ、現在施設の設計が行われていると聞いております。PFI方式は市としては初めての試みとして、通常、設計・建築・修繕・運営は別の契約で行われることが多いが、この方式は全て一体となっていると聞いております。

委員 印西市は10万人規模で、手を挙げる業者が出てくるのかと思っていたんですが、応募があったんですか。

事務局 著名な企業に決定したと聞いております。

議長 確か広報いんざいで概要が決定したと周知されていましてね。

委員 DXであったり、地域防災であったりはトレンドというか、市民の関心が相当高いんでしょうか？

事務局 日々業務を行う中で、やはりニュータウンエリアの方は、デジタル化というところに非常に関心があると感じています。というのも今、当課で回覧板の事業を行っていますが、紙ではなくデジタル化してほしいという声が聞こえています。新しい住民の方にとってかなり関心が高い分野なのかなと考えています。

委員 もう一つ、地域防災についてお伺いします。印西市はニュータウン地区とその他の地区と大きく分かれると思いますが、その違いによる格差というか、そういった意見はあるのでしょうか？ ニュータウンはURが手掛けていたため、防災等も考えてマスタープランを作っていると思うが、どうしても既存地区と格差が生じていると思う。

事務局 地域防災計画は、震災編と風水害編の大きく二つに分かれていて、それぞれの災害に合わせて計画が立てられている。それぞれハザードマップであるとか、そういったものを参考にしているため、地域の差といったものはある程度カバーできているのではないかと思います。

委員 ハザードマップというのはどの地方公共団体もあるものなのか？

- 事務局 どの市町村にもあるものと認識しています。
- 委員 他市のハザードマップを見たことがありますか、他市と比べて遅れているとか、あるいは進んでいるといった意見はありましたか？
- 事務局 そういったご意見はありませんでした。
- 委員 例えば、資料の最後に市民参加について十分に達成できたとあるが、パブリックコメントの意見のこういった点が反映されたのかを教えてください。
- 委員長 自分が他市から引っ越した時、市民課では市の便利帳・ハザードマップをくれました。転入してきたばかりなので、目を通しまして、去年も防災課からハザードマップが郵送されました。一回出せばそれで終わりというのが古い行政かもしれないが、印西市のそういったところは評価しても良いと思う。
- 事務局 防災計画の修正につきましては、字句の整合性を図るのが一つと、もう一つが、帰宅困難者への対策ということで、北総鉄道とJRの駅と連携して、という記載が当初ありましたが、京成電鉄を含めた方が良いという意見があり、京成電鉄も含めた記載の修正がありました。
- 委員 令和3年度の実施状況を見させて頂いて、皆さんすごく活動を沢山されたんだなと思いました。そこで二つ感想がありまして、まず一つは、このコロナによって大きく世の中が変わったと思うんですね。よりデジタル化が進んで、自宅にいながら色々な方達と交流ができる世界が広がってきたと思います。大学生も今留学できなくて、オンラインで留学していたりとか、スマートフォンで世の中が広がっていくという世界が今起きていて、今の若い世代が大人になった時にはもう当たり前の世界になっているのかなと思います。それをぜひ色々な形で活用していただいて、印西市もオンラインによる授業というのがより積極的になるといいなと思いました。
- それに合わせて、この市民参加のパブリックコメントの回答者の方たちにはどういった世代の方がいらっしゃるのか気になりまして、今住んでいる若い世代の方たちがもっとコメントしやすいように、例えばラインであったりインスタグラムであったり、中学生・高校生・大学生の方たちも、参加できるんだよ、ということをして是非印西市で推進していただくと、市も大きく飛躍していくし、より住みやすい街になっていくと思います。是非若い世代へのアピールをしていただきたいと思いますので、この委員会もZoomで開催して頂いてもいいのかなと思います。
- 議長 6番の地域コミュニティの基本方針 Web回答も導入したということで、新しい方法を導入したことは積極的にアピールして、若い世代も参加するよう市民参加が推進されればと思います。
- 事務局 **【議事（4）令和4年度市民参加手続の実施予定について説明】**
- 委員 今年度5つ市民参加を実施予定ということで、条例では市民参加の仕組みが列挙されている。私が思うに、この仕組みは市が事業を進める中で市民の意見を取り込む仕組みだと思うが、実際にはこれ以外にも市民参加が行われていると思う。

例えば担当部署に市民がいらして、こうした方が良いんじゃないかといって、その担当部署がそれに答えていくというのは、小さい事柄かもしれませんが、市民の意見を取り入れて、それを仕事に生かしていくといったことは少なくないと思います。そういった意味では、市各部の職員は市民参加の担当者であると思うんです。

そういうことが進められれば、例えばパブリックコメントでも、意見が無くても、今回パブリックコメントの意見が出てこなかったところは、関心が出にくい分野かなとは思いますが、市民と職員のそういう小さい市民参加の積み重ねがあれば、いずれは出てくるんじゃないかと思います。

要は行政と市民の信頼関係だと思う。行政と市民がそういう形で進んでいけばいいと思います。だからと言って、全庁的に研修会をやれとか、条例の仕組みに載っていないものについて調べるとかという話ではなく、そういう気持ちで進んでいけば、市民参加もより定着して発展していくかなと思います。

議 長 委員の指摘は大変面白いと感じました。確かに、パブリックコメントでいえば数字は0ということで、無関心なんだなという結論になってしまいがちですが、市民が窓口に来て、こういうふうにやったら印西市は良くなるよといったことがあったならば、提案といたら大げさだが、日常の活動の中で、そのような市民からの意見を、市民参加という目線で見、対応していけたら素晴らしい街作りになるんじゃないかと思いました。

事 務 局 今、委員の意見についてですが、板倉市長になってから、市民目線ということで、市民の声を聞くことがある中で、一箇月に一回、市長が意見を聞いて、それを各課に落としていく。この手続きには載ってありませんが、そういったことも行っております。

委 員 市民参加というものを考えたとき、専門家でないと意見が出せないようなものもあると思う。また、パブリックコメントなど、実際に意見を書くとなると、すごい時間やエネルギーが必要です。そんな暇が無い方もいると思います。また一方で、市議会議員がいる。地域で何かあった時に、議員さんが出てくることもあると思う。

議 長 私が他市で経験あるのが、市民が街路樹の手入れをしようとしたところ、ある議員が、自分に断りなしに市民が活動するのは何事だとなると、やっぱり旧態依然の考えなんですよね。議員さんたちもせっかく市民がやろうとしていることに水をさすことになってしまう。

事 務 局 まず一番基本的なやり方というのが、市民の方が一人窓口いらして、何か対応できないか相談をする形です。その次にあるのが、やはり町内会や自治会といった組織になります。町内会等の事務も当課で行っており、町内会からの要望とい

うのは多く挙がっています。やはり一人の意見より、町内会としての意見という方が、説得力が増すと思います。

議員との関係ですが、その議員がどの程度地域と密着しているかということが大きいと思います。先ほどの町内会の要望であっても、議員が市に提出してくる例もあります。先ほど会長がおっしゃった例のような、地域と議員との関係で問題があるようなことはないと思います。

事務局 今説明があったように、地区の要望については町内会といった組織が行い、議員については印西市全体のことを提案・要望している。どうしても町内会でまとまらなかった場合、議員に相談する例もあるが、要望の中には偏ったものもあると思うので、市に要望するかどうかは議員に判断していただく形となります。議員は市全体をみて提案等頂くものだと考えています。

事務局 議員のベースは地元にはあると思いますが、先ほどの説明にもあったように、印西市全体をみて活動されていると思います。地域の要望を地元の議員さんに頼まなければいけないというのではなく、やはりまずは町内会で要望をまとめていくという形が良いのではないかと思います。

議長 他にご意見ございますか。

委員 原則としては、今年度は市民提案がない限り、会議はないということでしょうか？

事務局 はい。ただし、現状市民参加の件数がコロナで大分落ちてきてしまっています。同じ水準に戻していきたいというのが事務局の考えですので、その中でご意見を伺う機会があるかもしれませんので、その点はご了承願います。

それでは、以上をもちまして、本日の市民参加推進委員会を終了いたします。

ご協力ありがとうございました。お疲れ様でございました。

令和4年8月5日に行われた印西市市民参加推進委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和4年8月27日

会議録署名委員 片桐 顯二